

空襲体験画リスト Eセット

解説パネル「…」はその下段に表示した絵画群全体の総説となっています。

解説パネル「爆撃」

B29など米軍機による空爆の様子が描かれています。

作者名	絵画名	整理番号
加瀬 美代	荒川附近に墜落するB29	E1 (1)
河原田 継男	探照灯に照らされるB29	E2 (2)
吉田 洋	焼夷弾の弾倉を開くB29	E3 (3)
吉田 洋	日本軍のサーチライトに照らされるB29	E4 (4)
笈川 芳太郎	燃える葛飾区役所上空で被弾したB29	E5 (5)
金子 弘	頭上を交差して飛ぶB29の群れ	E6 (6)
源 義邦	永田国民(小)学校から見た燃える町	E7 (7)
五月女 健一	墨堤の地蔵坂上からB29の墜落を眺める	E8 (8)
五月女 健一	ハッチを開き焼夷弾をばらまくB29	E9 (9)
後閑 美津江	パソコン画・東京大空襲	E10 (10)
榊山 次勇	東雲より炎上する墨田方面を望む	E11 (11)
笹川 和也	B29	E12 (12)
山崎 忠雄	初空襲	E13 (13)
山崎 忠雄	東京初空襲～高田馬場方面上空を飛ぶB25	E14 (14)
山崎 忠雄	豊島区高田南町から見たB29	E15 (15)
山崎 忠雄	学習院大学下に墜落したB29	E16 (16)
勝見 秀三郎	葛飾上空で撃墜されるB29	E17 (17)
小森 弘	自宅の縁側から見た東京初空襲	E18 (18)
石川 堯	音もなく侵入するB29	E19 (19)
川瀬 正夫	空爆される亀戸の町	E20 (20)
浅見 清三	京橋区役所屋上から見た本所・深川方面	E21 (21)
大塚 萬夫	深川上空で焼夷弾をばらまくB29	E22 (22)
中村 みつ	自宅に落ちる焼夷弾	E23 (23)
土田 宏	大晦日の空襲警報	E24 (24)
土田 宏	3月10日・吾嬬町	E25 (25)
藤田 澄子	空爆される浅草	E26 (26)
内藤 隆	品川から撃墜されるB29を見る	E27 (27)
八木 完	新宿歌舞伎町の炎上	E28 (28)
野村 くに	足下の地面で燃える焼夷弾	E29 (29)
澤野 孝二	焼けた空	E30 (30)
松原 栄作	京華国民(小)学校上を飛ぶB29	E31 (31)

解説パネル「炎のなかで」

空襲火災の中を逃げまどった人々が炎のなかで目撃した光景が描かれています。

作者名	絵画名	整理番号
三井 喜久雄	総武線ガード下で炎に取り囲まれ亡くなった人々	E32 (49)
村山 彰	4月の空襲で燃える板橋4丁目付近	E33 (50)
榎本 修司	兄を見失った場所～深川・大島電車通り	E34 (51)
宮入 恵次郎	浅草にて-貯水池でなくなった人々	E35 (57)
宮本 謙三	火の雨	E36 (61)
宮本 謙三	吾子が	E37 (63)
熊谷 直和	赤い鳥	E38 (65)
工藤 愛子	北十間川のほとりで	E39 (70)
斎藤 栄子	炎が隅田川の水面をなめる・炎上する小舟	E40 (75)
山下 盛子	炎の中、足もとに飛んできた火ぶくれの赤ちゃん	E41 (85)
山岸 修	浅草橋交差点で炎に取り囲まれた人々	E42 (86)
市川 浩	焼失直前のわが町	E43 (89)
須崎 八郎	燃える新宿の町～避難する家族	E44 (97)
清水 登志子	厩橋にて	E45 (98)
川井 満	昔、街が焼かれた～虫けらのようになって	E46 (104)
田熊 貞三	亀沢3丁目の母子～助けられなかった心の痛み	E47 (112)
田中 トシ	炎上する隅田川の東武線鉄橋と浅草の松屋	E48 (115)
美野川 邦久	明治座内から～火焰のなか次々に倒れる人々	E49 (121)
福島 靖祐	厩橋・3月10日の夜	E50 (125)
鈴木 邦雄	防火用水槽から見た光景	E51 (130)

解説パネル「死者・負傷者・避難民」

空襲直後に目撃した死者、負傷者、避難民の姿が描かれています。

作者名	絵画名	整理番号
狩野 光男	ねんねこ半纏・父と児	E52 (132)
狩野 光男	言問橋階段の惨状	E53 (133)
堀切 正二郎	おとりさま近くで	E54 (136)
堀切 正二郎	浅草・松屋前の隅田川で亡くなった人々	E55 (145)
羽部 権四郎	子供を防火用水に浸けた姿のまま白骨化した母子	E56 (158)
加瀬 美代	遺体引き上げと橋下で亡くなっていた母子	E57 (162)
金田 昌子	姉を捜して・3 へその緒で結ばれた母子の遺体	E58 (168)
恒川 貞雄	橋上から見た光景～遺体の引き上げ	E59 (171)
坂本 邦男	防火用水に浸かったまま白骨化した人	E60 (174)
小倉 茂山	明け方の言問橋～戦争の悪夢	E61 (183)
松原 伝蔵	消防署の下で立ったまま死んでいる人たち	E62 (185)
松崎 静江	流れ来る死体を見ながら学校へ	E63 (187)
石川 実揆彦	路上で亡くなっていた3人	E64 (190)
石川 実揆彦	空襲焼死者の仮火葬の跡	E65 (191)
赤堀 ヨシ	大やけどの静江さん	E66 (193)
川上 紀雄	空襲直後の惨状	E67 (194)
前野 栄造	亀戸ガード下・裸のマネキンのようになった人々	E68 (195)
中村 俊子	亀戸付近で見た光景	E69 (199)
中澤 利行	路上で亡くなっていた女性	E70 (200)
田村 稻雄	亀戸駅付近～小名木川貨物線ガード下の焼死体	E71 (204)

解説パネル「遺体の収容と仮埋葬」

軍や警防団・警察による空襲犠牲者の遺体の収容と仮埋葬の様子が描かれています。

作者名	絵画名	整理番号
宮坂 清	言問橋際・隅田川沿いに並べられた死体	E72 (225)
金田 昌子	姉を捜して・1 目の前を走り去った遺体を積むトラック	E73 (226)
金田 昌子	姉を捜してー遺体を積むトラック	E74 (227)
金田 昌子	姉を捜して・2 本所・中和公園で燃やされる死体の山	E75 (228)
古川 千賀子	厩橋のたもと～引きあげられた遺体	E76 (229)
小島 久雄	蒲田・海老取川に漂着した空襲犠牲者	E77 (230)
小島 久雄	蒲田・海老取川に漂着した空襲犠牲者	E78 (231)
中村 俊子	父よ弟よ～猿江恩賜公園に埋められた愛する家族	E79 (232)
中村 俊子	亡くなった父と弟に傘をさしかける	E80 (233)
田熊 貞三	3月13日の緑町公園・家族を捜す人々	E81 (234)
田熊 貞三	緑町公園に集められた犠牲者の遺体	E82 (235)
田村 稻雄	砂町川の遺体引き上げ作業	E83 (236)
土田 宏	原公園の空襲犠牲者仮埋葬	E84 (237)

解説パネル「廃墟の家と町」

空襲で焼け落ちた作者の家や廃墟となった町の様子が描かれています。

作者名	絵画名	整理番号
堀切 正二郎	駒形橋から上野駅を遠望する	E85 (238)
塩野 泰朗	荒川堤防から新小岩・平井方面を見る	E86 (239)
宮本 謙三	バラックと水道	E87 (240)
宮本 謙三	焼木	E88 (241)
宮本 謙三	怨夜	E89 (242)
宮本 謙三	雲はどこへ行く	E90 (243)
秋長 政吉	焼け跡の交番	E91 (244)
松原 伝蔵	四の橋附近のガラスビン工場	E92 (245)
川井 満	昔、街が焼かれた～富士だけが残った	E93 (246)
土田 宏	わが家も被災	E94 (247)
土田 宏	十間橋通り・不発弾の穴	E95 (248)
濱中 榮次	列車から見た焼け跡の惨状	E96 (249)

解説パネル「学童疎開と戦争孤児」

空襲のために地方に疎開していた子どもたちや両親を亡くした戦争孤児の思いをその軌跡をたどりながら描いています。

作者名	絵画名	整理番号
星野 光世	山で両親を想う	E97 (266)
星野 光世	月を見て両親を思う兄妹	E98 (267)
村上 敏子	疎開先で親を思い出して泣く子どもたち	E99 (268)
笈川 芳太郎	疎開先で汽車に呼びかける子供たち	E100 (270)